

【議案第 53 号】 令和 4 年度鯖江市一般会計
補正予算 第 6 号

資源ごみの分別費用(1,620万円) が増えたのはなぜ？

説明 4月から燃やすごみ収集袋への記名を開始したことにより、分別が促進され、資源ごみの量が大幅に増加した。資源ごみの中間選別費は、重量単価で算出されており、資源ごみ量の急増に伴い、その費用も増加した。手作業による選別作業のため、人員を増やし休日作業などで対応しなければ追いつかない状況であるため、費用の増額が必要となった。

問 費用を増額してまで、なぜ分別をするのかについて、もっと市民に説明する必要があるのではないか。

答 分別せず焼却すれば、CO₂の増加につながる。世界がゼロカーボンに向かう中、リサイクルできる資源を分別し、CO₂を削減していくことは、地球環境を維持するために必須である。CO₂の増減は目に見えないため、効果を伝えることは難しいが、時間をかけて丁寧に説明し、理解を求めていかなければならないと考える。

問 市民の分別努力に対して、何か還元できるものはあるのか。

答 燃やすごみの焼却費は、鯖江広域衛生施設組合を構成する市町の人口割・利用割等に基づいて負担額を算出している。分別の加速により、ごみの焼却量が減少し、利用割合が縮小すれば、今後、負担金が減少していくことも想定できる。

意見 地球環境を守り、将来を担う子どもたちに残していくためには費用がかかることは致し方ない。しかし、CO₂を削減する意義や、今後ごみ焼却負担金の減少が想定できることなど、分別による効果について、市民が納得できるよう、見える形での発信をしてほしい。

答 世の中が便利になれば、ごみは増加する傾向にある。製造する事業所側や使う側である利用者への啓発も含め、分別による効果について、周知を図ってきたい。



子どもたちに、どのような地球環境を残していくのか

【議案第 53 号】 令和 4 年度鯖江市一般会計
補正予算 第 6 号

西山公園「結びの広場」の柵が 新しくなるの？(600万円)

説明 西山公園の結びの広場西側に設置しているコンクリート製の柵は、設置から約 29 年が経過し、損傷が著しく危険な状態となっているため、柵周辺を立ち入り禁止にしている。早急に柵を更新し、利用者の安全・安心の確保を図りたい。

問 新しく設置するステンレス製の柵の、耐用年数はどのくらいか。

答 耐用年数は 40 年である。

問 同じような形状の柵は、西山公園にどのくらい残っているのか。

答 約 1,300m 残っている。全て点検した結果、劣化は見られるが、現在のところ危険な状態ではない。今後必要に応じて、更新していく。

意見 柵を更新した後も、損傷などが発生していないか注意して確認してほしい。

答 毎年点検を行っており、今後も十分に注意して、確認していく。



柵の損傷の様子